

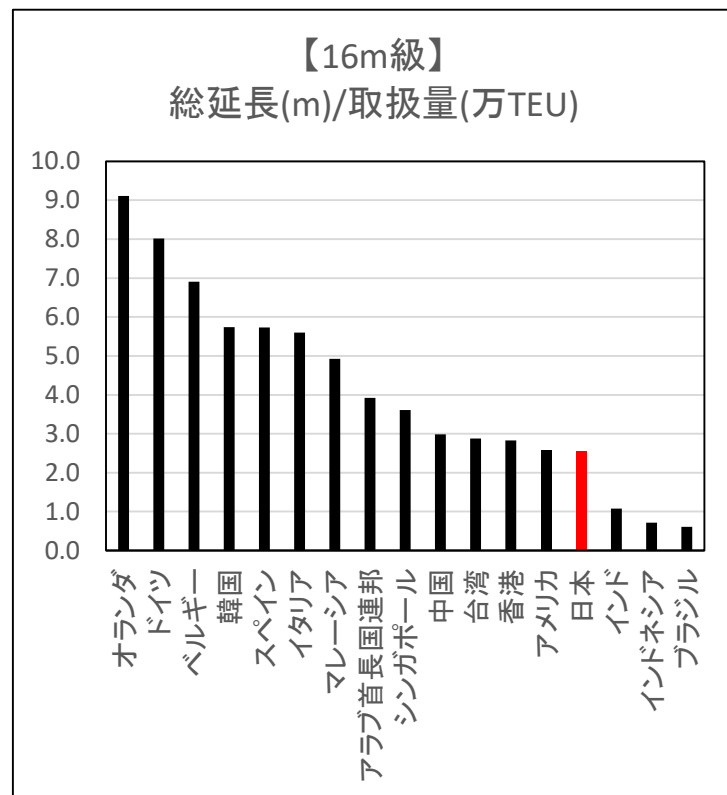
資料11 水深16m級のコンテナ岸壁について(2018年5月時点)

- 年間コンテナ取扱量が1,000万TEUを越える主要コンテナ取扱17カ国・地域において、水深16m級のコンテナ岸壁の総延長は180,541m。
- 日本は5,290mが整備済みであり、主要コンテナ取扱国の平均整備延長と比較すると、**約5割の整備水準**にとどまっている。

■主要コンテナ取扱国における岸壁整備水準

	コンテナ取扱量 (万TEU) (2014年)	【16m級】 総延長(m)	※参考 【16m級】 総延長/取扱量
中国	18,164	54,146	3.0
アメリカ	4,649	12,029	2.59
シンガポール	3,483	12,574	3.6
韓国	2,380	13,650	5.7
マレーシア	2,272	11,190	4.9
香港	2,230	6,308	2.8
アラブ首長国連邦	2,090	8,192	3.9
日本	2,074	5,290	2.55
ドイツ	1,969	15,785	8.0
台湾	1,643	4,733	2.9
スペイン	1,471	8,425	5.7
オランダ	1,251	11,400	9.1
インドネシア	1,190	850	0.7
インド	1,166	1,260	1.1
イタリア	1,131	6,331	5.6
ベルギー	1,119	7,725	6.9
ブラジル	1,068	653	0.6
合計		180,541	
平均		10,620	

我が国の整備水準
5,290m / 10,620m = 49.8%



※ 年間コンテナ取扱量が1,000万TEU以上の国を対象
水深16m級の岸壁を対象(国によって水深の整理が異なるため、15.5m以深を対象)
※ 出典:コンテナリゼーションインターナショナル、国際輸送ハンドブック、その他各港HPより国土交通省港湾局調べ